

一人ひとりの願い、想いを大切にできる学校に

3月8日に卒業証書授与式を挙行し、125名の生徒が坂本中学校を巣立っていきました。今年は卒業式に先立ち、2年生のプロジェクトリーダーたちが企画した「3年生を送る会」と「継承の会」の2つの行事を開催しました。

「3年生を送る会」では、坂本中学校の職員に関わるクイズや坂本中学校を題材とした漫才、卒業生の思い出の写真や動画が披露され、会場内は笑いと笑顔に包まれました。また、

「継承の会」では、1、2年生が3年生に向けての感謝の言葉とお礼の気持ちを込めた合唱を披露し、3年生は「卒業コンサート」としてたくさんの合唱曲に加え、ダンスを取り入れた素敵な演出のある「答辞」を披露し、会場内は感動と涙にあふれました。



この2つの行事を通して、3年生が残していった財産を1、2年生が引き継ぎ、新たな坂本中学校を創っていく礎ができたと感じました。また、この会の中で3年生の姿から学んだこととして、2年生のリーダーが「3つの想い」に気付いたと語ってくれました。

私たちは3年生の見せてくれた姿から、「なぜ、できたのか」「どんな想いが込められていたのか」を考えてみました。すると、私たちが引き継ぐべき、「3つの想い」に気づくことができました。

それは、「相手のことを考えて行動する想い」

「みんなで一つの目標に協調して取り組む想い」

「続けていく想い」

です。

3つの想いを簡単に表すと、「思いやり、協調、継続」になるかと思います。こんな学校にしたい、こんな自分になりたい、仲間とこんなことができたらいいなという願いや想いを生徒一人ひとりがもっています。坂本中学校では、令和6年度も生徒の願いや想いを大切に、生徒が主体となった取り組みを継続し、仲間と活動できる喜びを感じながら、一人ひとりが成長していける学校にしていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、1年間坂本中学校の教育活動にご理解、ご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。引き続き、令和6年度もよろしくお願いいたします。